



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月7日

上場会社名 株式会社ステムセル研究所 上場取引所 東
コード番号 7096 URL <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）清水 崇文
問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部長（氏名）谷 勝弘（TEL）03-6811-3230
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	678	17.6	123	39.5	124	37.6	178	135.7
2024年3月期第1四半期	577	17.1	88	20.1	90	22.1	75	49.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	17	41	—	—
2024年3月期第1四半期	7	39	—	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,704	—	2,775	—	41.4	—
2024年3月期	6,543	—	2,692	—	41.2	—

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 2,775百万円 2024年3月期 2,692百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期(予想)	—	25.00	—	0.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	20.9	600	45.0	600	43.8	500	60.8	48.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	10,246,600株	2024年3月期	10,246,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	46株	2024年3月期	46株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	10,246,554株	2024年3月期1Q	10,246,554株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「あたらしい命に、新しい医療の選択肢を。」をコーポレートスローガンに、日本全国の産婦人科施設との強固なネットワークを活用し、再生医療・細胞治療を目的とした「さい帯血」や「さい帯」等の周産期組織由来の細胞バンク事業及びそれらの細胞等を利用した新たな治療法、製品の開発を行っております。そしてこの事業基盤をベースとして再生医療やフェムテック等関連する領域での事業開発及び投資等によるサステナブルな成長と社会への貢献を目指しております。

(事業の概況について)

当第1四半期累計期間においては、当社主事業である出産時にのみ採取可能な「さい帯血」や「さい帯」を将来の利用（主に再生医療）に備えて保管する「細胞バンク事業」において、当社の主要なマーケティングチャンネルである、医療機関におけるスピーチやPR等のリアル・マーケティングとオンライン広告、SNS等のデジタル・マーケティングが相乗効果を上げ、過去最高の保管検体数（さい帯血、さい帯の合計）を更新、当社の中期的な目標である国内出生数に対する保管率3%（さい帯血）に向け順調に推移しております。

また、昨年6月に細胞の保管意義の更なる向上を目的に「さい帯」を保管されるご家族向けに、組織の再生を促す成長因子や細胞間の情報伝達物質（エクソソーム）等を含む培養上清液を作成するサービスを開始した事により、「さい帯血」を保管される方の「さい帯」保管率が約50%まで高まっております。

当社は現在約50億円を事業投資資金として確保しており、これらをもとに当社独自のネットワークにより得られる情報をベースとした投資活動を行っております。

当第1四半期累計期間においては、昨年6月に上場した投資先の株式を売却した事により、特別利益として136,939千円を計上いたしました。今後もM&Aも含めた投資活動を積極的に推進して参ります。

また、当社は現在東南アジア（ASEAN）での事業展開に注力いたしております。同地域においては、年間1,000万人以上の出生数があり、例えばシンガポールにおいては、出生数（約3.3万人）に対するさい帯血の保管率は約20%と日本に比べ高く、今後マーケットが大きく成長する事が予測されています。近年中の事業開始に向け、現地企業との提携も含め積極的に活動を行っております。

(研究開発活動について)

「さい帯血」を用いた再生医療分野につきましては、国内では高知大学医学部附属病院小児科において脳性麻痺児に対する臨床研究が順調に進んでおります。大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室を中心としたグループでは低酸素性虚血性脳症（HIE）児に対する臨床研究も引き続き進められております。また、同グループとは昨年6月に「自閉症スペクトラム障害に対する自家臍帯血有核細胞を用いた治療法の開発」を開始する事を決定し公表、間もなく臨床研究が開始される見込みです。米国においては、FDA認可のもとデューク大学で進められている脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラムへ、当社でさい帯血を保管されている方々が参加されるケースが増加しており、その結果も良好です。

「さい帯」を用いた研究開発につきましては、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学教室と設立した「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」において、新たな半月板治療法の開発を推進しております。また、東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部及び東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部との小児形態異常等の先天性疾患に対する治療法の開発も、引き続き推進しております。

これらの活動の結果、当第1四半期累計期間における売上高は678,887千円（前年同期比17.6%増）、営業利益は123,574千円（同39.5%増）、経常利益は124,896千円（同37.6%増）となりました。また、投資有価証券売却益136,939千円を特別利益へ計上した事等から、四半期純利益は178,361千円（同135.7%増）と、それぞれ第1四半期累計期間として過去最高となっております。

また、当社は2024年8月5日をもちまして設立25周年を迎えることを記念して、2024年9月30日を基準日とし、特別に1株あたり25円の記念配当（設立以来初配当）を実施する方針を、5月14日開催の取締役会において決議しております。

なお、当社は、単一セグメントのため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は6,704,970千円となり、前事業年度末に比べ161,895千円増加いたしました。流動資産は4,799,743千円となり、前事業年度末に比べ284,702千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の売却等により現金及び預金が184,961千円、売上の増加に伴い売掛金が109,914千円増加したことによるものであります。固定資産は1,905,227千円となり、前事業年度末に比べ122,807千円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の売却により投資その他の資産が143,431千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は3,929,832千円となり、前事業年度末に比べ79,372千円増加いたしました。流動負債は3,837,041千円となり、前事業年度末に比べ77,019千円増加いたしました。これは主に、買掛金が12,261千円、賞与引当金が19,794千円減少した一方で、前受金が88,575千円増加したことによるものであります。固定負債は92,790千円となり、前事業年度末に比べ2,352千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,775,138千円となり、前事業年度末に比べ82,523千円増加いたしました。これは、その他有価証券評価差額金が95,838千円減少した一方で、四半期純利益の計上により利益剰余金が178,361千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月14日「2024年3月期決算短信」にて公表しております。通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,845,540	3,030,502
売掛金	1,588,310	1,698,225
原材料及び貯蔵品	42,262	37,347
前払費用	39,731	35,196
その他	3,516	2,833
貸倒引当金	△4,322	△4,363
流動資産合計	4,515,040	4,799,743
固定資産		
有形固定資産	665,155	676,563
無形固定資産	41,609	50,825
投資その他の資産	1,321,270	1,177,838
固定資産合計	2,028,034	1,905,227
資産合計	6,543,075	6,704,970
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,300	23,038
未払法人税等	88,930	83,222
前受金	3,420,493	3,509,069
賞与引当金	50,500	30,706
その他	164,796	191,004
流動負債合計	3,760,022	3,837,041
固定負債		
役員退職慰労引当金	27,681	30,530
資産除去債務	56,079	56,127
その他	6,676	6,132
固定負債合計	90,437	92,790
負債合計	3,850,459	3,929,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,805	704,805
資本剰余金	589,805	589,805
利益剰余金	1,318,386	1,496,748
自己株式	△91	△91
株主資本合計	2,612,906	2,791,268
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79,708	△16,129
評価・換算差額等合計	79,708	△16,129
純資産合計	2,692,615	2,775,138
負債純資産合計	6,543,075	6,704,970

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	577,108	678,887
売上原価	205,083	238,775
売上総利益	372,025	440,111
販売費及び一般管理費	283,419	316,537
営業利益	88,605	123,574
営業外収益		
受取利息	362	1,175
助成金収入	334	42
協賛金収入	1,342	—
雑収入	116	104
営業外収益合計	2,155	1,322
経常利益	90,761	124,896
特別利益		
投資有価証券売却益	22,327	136,939
その他	1,746	—
特別利益合計	24,074	136,939
特別損失		
固定資産除却損	8	0
特別損失合計	8	0
税引前四半期純利益	114,826	261,836
法人税、住民税及び事業税	22,461	76,900
法人税等調整額	16,678	6,573
法人税等合計	39,140	83,474
四半期純利益	75,686	178,361

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社の事業セグメントは、細胞バンク事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社の事業セグメントは、細胞バンク事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	24,948千円	29,412千円